

■ 主な事業内容

心地よく暮らす環境づくり	◇安心・安全な水道水の提供と排水処理を行うため、簡易水道・下水道特別会計に不足する財源の一部を繰り出します。 ◇皆さんの交通利便性を確保するためバス特別会計に不足する財源の一部を繰り出します。	18,705万円 2,160万円
人々が集う活力ある産業づくり	◇引き続き、中山間地域等直接支払交付金事業を行います。 ◇みやぎの豊かな森林づくり支援事業をはじめ、森林整備事業を進めます ◇緊急雇用経済対策として、雇用機会の創出と再就職の支援を行います。 ◇「米づくり」と「七ヶ宿源流米ネットワーク」の活動を支援します。	1,871万円 1,295万円 1,738万円 185万円
健康とやすらぎの計画づくり	◇住民健診は、本来の目的である健康維持と早期発見、受診率向上を目指し、自己負担金の無料化、乳がん検診を毎年実施に変更しました。 ◇国民健康保険、診療所、老人保健、介護保険、介護サービス、後期高齢者医療等特別会計に不足する財源の一部を繰り出します。 ◇乳幼児・少年医療費の所得制限が撤廃され助成が拡大されます。紙おむつ支給や、妊婦健診費が14回までの助成も継続されます。	1,316万円 9,987万円 735万円
未来をひらく人づくり	◇英語力向上等を目指し、外国語指導助手(A L T)を継続して配置します。 ◇緊急雇用創出事業での補助教員を各学校に配置します。 ◇地上デジタル化に備え、計画的に各学校にデジタルテレビ等、教材、管理用備品を配備します。	437万円 203万円 182万円
みんなで行うまちづくり	◇元気な地域づくり交付金 ◇広報しちかしゅく、議会だよりでの広報活動	350万円 299万円
まちづくりを推し進める行財政	◇効率的運営と事務合理化による電算システム使用料 ◇広域行政による事務の合理化(負担金)	2,430万円 6,884万円
普通建設事業	◇災害拠点施設となる役場庁舎、開発センター耐震補強工事を行います ◇安全に通行するため、南蔵王大橋耐震補強工事を20年度から継続して行います。 ◇遊休施設となっていた旧滑津公民館、旧町営住宅の解体を行います。	

特別会計予算額

特別会計名	予算額	対前年比	主な増減理由
国民健康保険特別会計(事業勘定)	2億0,000万円	25.0%	療養給付費の増
国民健康保険特別会計(直診勘定)	9,270万円	▲7.4%	医療機器購入費の減
老人保健特別会計	300万円	▲92.5%	医療制度改正に伴う未精算分
簡易水道特別会計	8,870万円	75.0%	高利率起債の繰上償還の増
町営バス特別会計	2,500万円	▲5.7%	バス待合所移設工事の減
公共下水道特別会計	1億5,200万円	▲53.1%	浄化センター改修工事の減
介護保険特別会計	1億7,600万円	3.5%	各給付費の増
介護サービス特別会計	1,650万円	6.5%	サービス収入の増
後期高齢者医療特別会計	2,880万円	▲0.6%	広域連合納付金の減
特別会計合計	7億8,270万円	▲14.5%	

◆ 平成21年度の当初予算の概要を紹介しました。町のホームページにも予算・決算の状況を随時掲載していきますので、ご覧ください。詳しくは・・・総務課財務係 37-2111

平成21年度 当初予算の概要

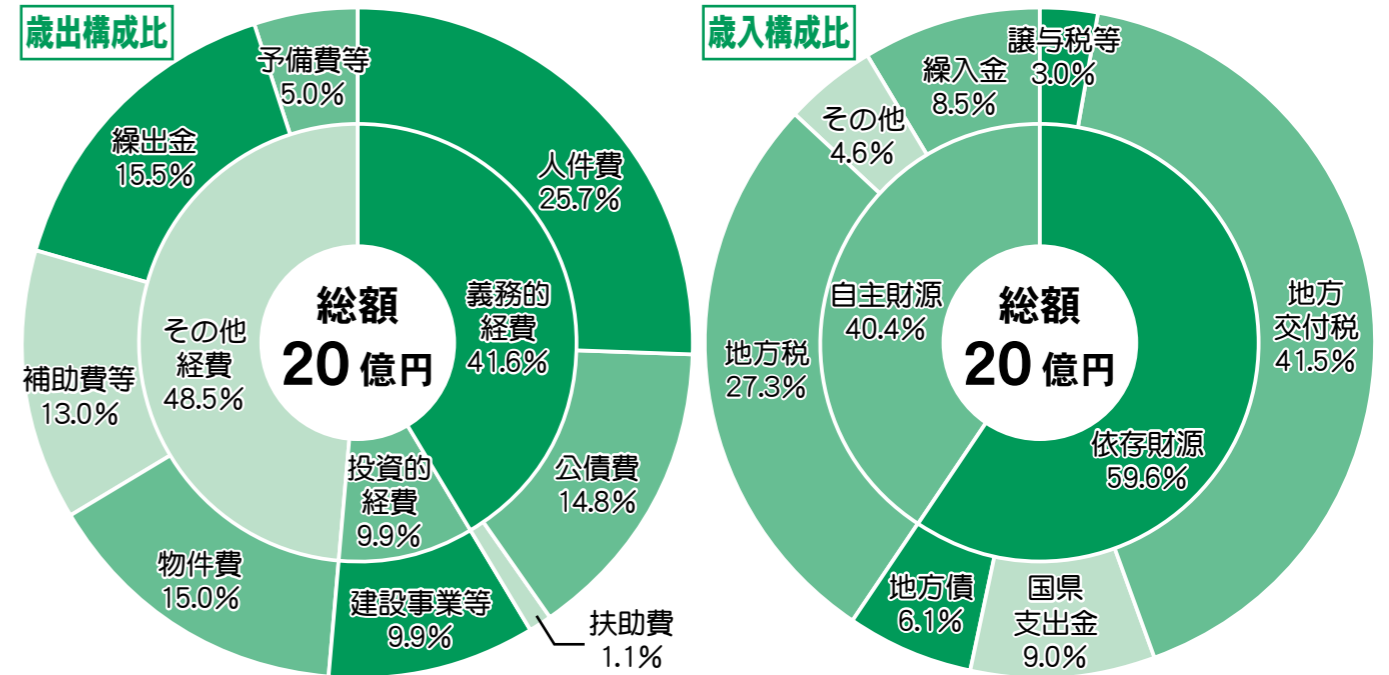
一般会計総額 20億円 (3.3%増)

平成21年度の七ヶ宿町の予算が3月定例議会で可決されました。一般会計は6,400万円(3.3%増)の20億円、国民健康保険特別会計ほか7特別会計を含めた

全会計予算総額は 27億8,270万円 (2.4%減) となっています。

第四次七ヶ宿町総合計画の最終年度となり、計画書に盛り込まれている「まちづくりの基本目標」である“人びとが集いやすらぐまちづくり”をめざし、行財政改革の実行と健全財政の堅持、持続・継続できる財政の基盤づくりなどの必要な施策を実施する予算編成となっています。

■ 一般会計予算の内訳



(注) 歳入構成比中「その他」の欄には、使用料・分担金、財産収入、寄附金、諸収入等が含まれています。
歳出構成比中「建設事業等」欄には、補助事業・単独事業・災害復旧の事業費が含まれています。
「予備費等」とは、積立金、投資及び出資金、維持補修費、貸付金、予備費が含まれています。

■ 主な歳入と歳出予算

歳入	◇町税 5億4,569万円 (▲2,838万円)・・・固定資産税の減、ダム交付金などの減 ◇国庫支出金 9,574万円 (2,362万円)・・・役場庁舎、開発センター耐震事業補助金などの増 ◇地方交付税 8億3,000万円 (5,000万円)・・・地域雇用創出推進費の増
歳出	◇物件費 3億0,070万円 (2,682万円)・・・雇用再生特別交付金事業等による委託費などの増 ◇補助費 2億9,792万円 (3,628万円)・・・後期高齢者医療負担金などの増
基金	◇財政調整基金 5,000万円 (3,000万円)・・・不足する財源を調整するための増 ◇振興基金 5,000万円 (4,200万円)・・・役場庁舎、開発センター耐震補強工事に充当 ◇減債基金 6,715万円 (▲789万円)・・・簡易水道・下水道特別会計で行う繰上償還に充当